

# NEWS LETTER

Special

京都医療センター  
広報誌  
特別号外版

## 地域医療の要として高度先進医療に取り組む

京都医療センターは、伏見地区の要となる地域基幹病院としての使命を果たすため、高度先進医療の推進に力を入れています。その取り組みのひとつが2021年11月末に完成予定の、手術台と高度なX線撮影装置を組み合わせたハイブリッド手術室です。循環器内科・心臓血管外科領域では、これまで別々に行っていたカテーテル治療と外科手術を同時に施行できるので、手術時間の短縮や精度の向上に役立つだけでなく、患者さんにとって負担の少ない治療が実現します。ハイブリッド手術室の活用は、脳神経外科・整形外科領域でも期待できます。また当センターでは、低侵襲で複雑な手術を行える、手術支援ロボット「ダヴィンチ」がフル稼働していますが、2022年にはさらに高性能な新機種の導入を目指しています。日本人男性の2人に1人、女性の3人に1人が「がん」にかかるといわれる現在、質の高いがん医療は欠かせません。地域がん診療連携拠点病院に指定されている当センターでは治療の質向上に努めることはもちろん、緩和ケア病棟の充実など、患者さんの想いに寄り添ったケアを重視。さらに院内の医療資源を最大限に活かすため、2022年4月開設を目標に、がんセンター化のプロジェクトを進めています。同じ敷地内に臨床研究センターがあることも特色のひとつ。病院と臨床研究センターのスタッフが連携し、患者さんへの良質な診療に結びつく研究を推進しています。

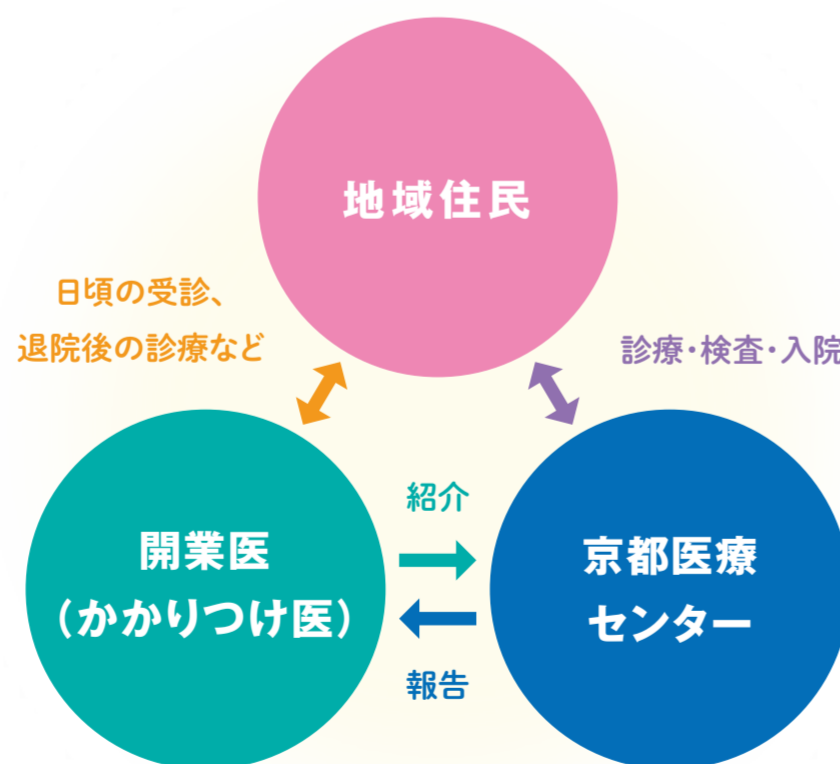


※この画像はイメージです

## センター・地域住民・かかりつけ医がつながる関係

住民の皆さまが安心して暮らせる地域医療を実現するため、私たちが目指しているのは「京都医療センター・地域住民・開業医(かかりつけ医)」の三者が、切れ目なくつながる関係。身近で頼りになるかかりつけ医の先生が、日頃の継続的な診療や健康についての相談を受け、急性期医療が必要な場合にはかかりつけ医の先生からの紹介をいただき、当センターが高度かつ専門的な検査・治療を行う。そして患者さんが回復後、再びかかりつけ医の先生が患者さんに寄り添った診療を行う、そんな関係作りに取り組んでいます。そのために、当センターはご紹介いただいた患者さんの受け入れ体制を整え、かかりつけ医の先生ときめ細かい診療情報の共有、当センターから最新のトピックスをお伝えする医療連携フォーラムも実施しています。2019年に患者支援センターを開設し、地域住民の皆さまに対しては、退院後の暮らしをサポートする退院支援や、がんをはじめとする患者さん相談の充実を図っています。その他にも健康関連のイベントや、病気の悩みや不安をケアする患者支援会などを開催し、地域医療の貢献に努めています。

### 京都医療センターが目指す三者の関係性



地域の安心・安全を支えるため  
「求められる医療」を。

地域医療連携が推進されるなか、伏見地区の地域基幹病院である京都医療センターでは、住民の皆さまが安心して医療を受けられるよう、質の高い医療を提供するとともに、住民の皆さま、開業医(かかりつけ医)の先生との信頼関係を何よりも大切にしています。高度な設備や技術を有する当センターと、患者さんに寄り添って継続的な診療を行うかかりつけ医の先生との連携は、この地域の医療環境を最大限に充実させるうえで不可欠です。さらに当センターは、患者さんや地域住民の皆さまとつながる「場」を設けることにも努めています。ライフスタイルやニーズが多様化する現在、私たちは「求められる医療は何か」というテーマにしっかりと向き合いながら、地域医療に貢献してまいります。

院長  
小池 薫





院長 / 学校長

小池 薫

こいけ かおる

京都医療センターは、伏見区をはじめとするこの地域にお住まいの方が安心して暮らせる医療を実現するため、住民の皆さん、かかりつけ医の先生方と、さらに連携を深めていきたいと考えています。

医療安全、医療の質、医療情報分野を担当します。安全で良質な医療を地域に提供できるよう精一杯汗をかきます。困った時に頼られる病院にしています。

がん診療を充実させ地域連携や教育研修を進めるため院内にがんセンターを設けてあります。コロナ禍の鎮静にあわせて新たに事業を展開したいと考えています。

院内各科との連携を保ちながら、病病連携・病診連携に努め、地域医療のレベルアップを目指します。また、地域住民の健康増進に尽力致します。

病気や症状について、京都医療センターのどこに相談したらいいかわからない場合、声を掛けください。



2014年8月にロボット支援手術を導入、2021年秋にはハイブリッド・ナビゲーション手術室が開設されます。より安全で精度が高く低侵襲な外科診療の実践を目指してまいります。

地域がん診療連携拠点病院として、がんの診断治療にかかわる専門診療科と連携し、がんの診断、治療から緩和ケアまでの切れ目のない質の高い医療の提供を努めてまいります。

急な疾患でお困りの場合には、是非救急をご利用ください。24時間365日いつでも対応いたします。

当院では地域の急性期医療の担い手として、高度な手術医療の提供を行っています。緊急手術も24時間受け入れ可能です。安心して手術を受けていただける体制を整えています。

病棟管理を担当しています。一人でも多くの患者さんに、「ここに入院してよかった」と思っていたけるよう、快適な療養環境の提供に精一杯努めて参る所存です。

健診センター長として長らくご鼎立いただきましたが、今春から外来管理を担当しています。地域のみならずの心身の健康を守るべく、近隣医療施設と連携して上質の医療を提供いたします。



診療部長(健診担当) 健診センター長 消化器内科診療科長

診療部長(地域医療担当) がん相談支援センター長 腎臓内科診療科長

診療部長(医事管理担当) 臨床検査科長

診療部長(感染制御担当) 総合診療科診療科長

診療部長(先進医療担当) 眼科診療科長

臨床研究センター長



内分泌代謝高血圧研究部長

展開医療研究部長

事務部長

看護部長

薬剤部長

副学校長

医療センターの役割を見直し、熟考を重ねた結果、2022年3月をもって健診センターはその役目を終えます。長い間、ご利用いただきありがとうございました。

地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、急性期中核病院としての役割を果たせるよう、これからも地域に貢献してまいります。

当院での勤務歴が18年を超えました。ひとえに地域の患者様や医師会の先生方のおかげです。今後も診療の質を向上させることに不撓の努力を続けて参ります。

感染制御部では、患者さんの院内感染リスクをできるだけ小さくして、安全に診療を受けていただけるよう療養環境を整えています。

各科で行われている先進医療や最新医療を、皆様に広くお伝えし、地域の先生方との連携を深めるお手伝いができればと思っております。

京都医療センターには研究施設である臨床研究センターがあります。これから「どんなこと(研究)をしているところ?」かをわかりやすくお伝えしたいと思います!

内分泌代謝高血圧研究部長として、20年来、糖尿病地域連携外来、肥満・メタボ専門外来や遺伝診療外来等を担当。これからも地域医療に尽力します。

心血管危険因子の管理、特に禁煙に力をいれています。予防医学の普及と啓蒙ならびに情報発信を介して、国民の健康長寿と福祉に寄与していきたいと思っております。

患者さんと地域の開業医の先生方から期待される高度な医療を提供するため、事務職員として財務・経営面から病院機能の維持・向上を目指しています。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

看護部では、看護職員一人ひとりが患者さん・ご家族とともに歩み、丁寧な看護を実践するために、専門職として知識・技術と高い倫理観を持って考え行動することに努めています。

患者さんの薬に対する不安や負担を軽減し、安心して薬物療法を受けていただくことができるよう努めてまいります。薬について分からないことがありましたら薬剤師に聞いてください。

看護師・助産師として必要な知識・技術の習得はもとより、当校の教育理念である「感じる心、考える力、主体的に行動する」学生の育成を目指しています。



血液内科では血液専門医が診療にあっています。血液疾患でお困りのことがありましたらご相談ください。

この4月から稀少血液疾患科を開設いたしました。稀少血液疾患や鉄代謝異常症の診断や治療を行っています。

糖尿病、糖尿病性合併症、フットケア、肥満、脂質異常症など幅広く専門的治療を行っています。お気軽にご紹介ください。

精神科は地域の精神衛生の向上に貢献していきたいと思っております。よろしくお願致します。

脳神経内科では、脳卒中、パーキンソン病、認知症などcommon diseaseも多く扱っています。

病気に苦しむ地域の子供たちやそのご家族のため、診療科一同で精進していきたいと思っております。

疾患の長期予後改善を目標に、急性期のリハビリテーション・嚥下評価・心臓リハビリテーションに力を注いでいます。



CURE(治癒)を目指してきっちりとした手術をしつつ、CARE(患者さんの様々な事柄に配慮)も大切にしています。

一流の私立病院のように、迅速性と柔軟性と親しみやすさをもった乳腺診療ができるよう尽力しています。

できもの、眼瞼下垂、生まれつきの変形をきれいに治したい、そんな「きれいに治したい」が実現できるよう心がけています。

脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷や頸椎症をはじめ「脳とは関係ないかな?」と悩まれるような場合も遠慮なくご紹介ください。

肺癌などの胸部疾患に対してロボット支援下を含めた低侵襲手術を行い、地域の皆さんのニーズに応えるべく最新最良の治療を行って参ります。

京都でも数少ない血管外科の専門科です。下肢血流障害による歩行障害は珍しくなく、そのような方の歩行改善をサポートします。

尋常性乾癬、乾癬性関節炎、掌跖膿疱症、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹は重症度に応じて生物製剤の治療を行っています。



受診してよかった、と思ってもらえる産婦人科を目指しています。お気軽に受診・ご相談ください。

日々研鑽を怠らないように気をつけております。どんなことでもご相談いただければ幸いです。

首から上の腫瘍に対して低侵襲から進行がん手術まで、チーム医療で最新の治療を提供し、関西一円から紹介があります。

歯、口、顎の口腔外科的治療を行っています。かかりつけ歯科の先生からの紹介状をご持参ください。

当科はがん治験紹介のためのゲノム検査外来も行っていきます。がん治験参加希望あれば、お問い合わせください。

救命救急科は、重症度・緊急度の高い傷病者を中心に、昼夜問わずの当センター緊急窓口として対応させて頂きます。

重症患者さんを各専門科、各部門と協力しながら、世界標準の集学的治療を行っています。



受診されるかたにとって最適な検査となるように、医師・技師・看護師が一致協力して診療にあたっています。

高精度放射線治療棟を開設し、新規装置の導入により、IMRT、画像誘導放射線治療が可能となりました。

正しい病理診断は、的確な治療の基盤になります。持参標本の診断なども行ってまいりますので、ご相談ください。

一人ひとりのリウマチ、膠原病患者さんに最適な治療が提供できるように努めています。

インタビュームービー

院長・副院長・看護部長にインタビューを行いました。QRコードからアクセスしてご覧ください。



お問い合わせの方は下記までご連絡ください
地域医療連携室 / 患者支援センター連絡先
0120-06-4649
0120-30-8349

掲載内容は2021年10月現在のものとなります。